

# 厳しく予算を チェック

**個別意見（要望事項）**

① 地方分権を迎えた現在、地方自治体は自己決定・自己責任の原則のもと、住民に最も身近な基礎自治体としての役割を担っていく必要がある中で、職員研修を充実させ、社会経済環境の変化に柔軟に対応しながら、住民ニーズを的確に把握し、最適なサービスで住民の満足度が高められるよう、職員の育成に努められたい。

② 本市の自立的発展を考える時、遊休資産の運用、活用、処分の方向性

**文教厚生分科会**

3月7日分科会を開催した。担当部署は市民生活部・教育委員会及び福祉保健部。主な個別意見は次のとおり。

**個別意見（要望事項）**

① 長引く景気の低迷により、徴収環境は大変厳しい状況にあるが、行政サービスの原資は、その大半を税・料で賄っており、将来に向かって市民

の視点に立った質の高いサービスを提供していくうえで、税・料収入の確保は極めて重要であり、また、税金の確保に向けては、収納業務を扱う担当課が連携を密にし、滞納整理の実務に関する研修や納付に関する広報活動などを計画的に行い、滞納の解消に努められたい。

② 地域における福祉課題として、制度では拾いきれないニーズがある人、問題解決能力が不十分で公的サービスをうまく利用できない人、身近な人、ければ病気の早期発見が困難な問題等、平常時の支援活動が必要とされている。こうした課題に対応するため、行政・関係機関・住民団体等がそれぞれ連携し、補い、地域の生活課題の解決に向けて支え合い活動できるように、協働の仕組みづくりを早急に検討されたい。

③ 厳しい財政状況において、限られた財源を有効に活用していくためには、補助金等の総額を抑制しつつも、まちづくり

**産業建設分科会**

3月9日分科会を開催した。担当部署は産業部・土木建築部及び企業局。主な個別意見は次のとおり。

**個別意見（要望事項）**

① 市民の生活に密着した生活道路の維持、修繕、舗装、側溝等の整備（抜本的な改良を要するものは除く）にあたっては、迅速に対応し、沿線住民・通行者等に迷惑をかけることのないよう、配慮し施工されたい。

② 交通船事業について

は、原油価格の高騰と高速道路の無料化により、厳しい経営状況が続くものと思われるが、市民は江田島市に住むことでの不便さを解消する海上交通の利便性（運航回数増、運航時間短縮、また最終便の延長など）を求めている。海上交通の利便性の向上は、地域の活性化にも深くかわるのので、共通理念を持って、定期航路の維持、向上に努められたい。

③ オリブの振興・新品目チャレンジ事業等の推進により、遊休荒廃農地の有効活用を図ることは、農地の多面的機能の維持や、地域農業の活性化の面で大変意義あるものと思われる。

事業の執行にあたっては、先進事例をよく調査・研究され、将来、農地としての自然風景を取り戻し、都市との交流を深める上で、貴重な資源となるよう努められたい。

## 総務分科会

3月4日分科会を開催した。担当部署は総務部・選挙管理委員会及び消防本部。主な個別意見は次のとおり。

平成23年3月2日開催の第2回江田島市議会定例会において予算審査特別委員会を設置し、付託された新年度予算について各常任委員会所管ことの3分科会で慎重に審査した結果、原案どおり可決しました。

は極めて重要であると考えます。限られた財源によって効果的なまちづくりを進めるためにも、中長期的な視野に立って、計画的に遊休資産の処分等を検討されたい。

税・料の確保に向けては、収納業務を扱う担当課が連携を密にし、滞納整理の実務に関する研修や納付に関する広報活動などを計画的に行い、滞納の解消に努められたい。

② 地域における福祉課題として、制度では拾いきれないニーズがある人、問題解決能力が不十分で公的サービスをうまく利用できない人、身近な人、ければ病気の早期発見が困難な問題等、平常時の支援活動が必要とされている。こうした課題に対応するため、行政・関係機関・住民団体等がそれぞれ連携し、補い、地域の生活課題の解決に向けて支え合い活動できるように、協働の仕組みづくりを早急に検討されたい。

③ 厳しい財政状況において、限られた財源を有効に活用していくためには、補助金等の総額を抑制しつつも、まちづくり

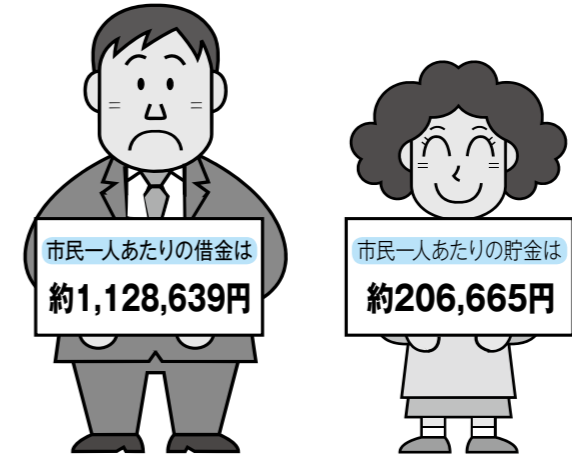
への参加意欲を高め、市民活動が活発に展開される補助金制度へ転換を図ることは非常に重要です。しかし、補助の必要性の高いものは減額することなく、客観的な視点から評価を行い、柔軟性の高い補助金のあり方を検討されたい。

は、原油価格の高騰と高速道路の無料化により、厳しい経営状況が続くものと思われるが、市民は江田島市に住むことでの不便さを解消する海上交通の利便性（運航回数増、運航時間短縮、また最終便の延長など）を求めている。海上交通の利便性の向上は、地域の活性化にも深くかわるのので、共通理念を持って、定期航路の維持、向上に努められたい。

③ オリブの振興・新品目チャレンジ事業等の推進により、遊休荒廃農地の有効活用を図ることは、農地の多面的機能の維持や、地域農業の活性化の面で大変意義あるものと思われる。

事業の執行にあたっては、先進事例をよく調査・研究され、将来、農地としての自然風景を取り戻し、都市との交流を深める上で、貴重な資源となるよう努められたい。

# 307億円の借金を払うのは、 私たちと子どもと孫です！



参考

- 平成23年度末の見込み
  - 市の借金 306億8,205万円
  - 市の貯金 56億1,820万円
- 平成23年2月末の人口 27,185人

■一般会計における借入残高は平成23年度末には、平成22年度末に比べ、3億569万円減少する見込みです。

## 江田島市の借金と貯金

区分	20年度末		21年度末		22年度末		23年度末	
	現在	高	現在	高	現在	高見込額	現在	高見込額
一般会計	一般公共事業債	37億4,713万円	35億5,469万円	33億4,252万円	30億1,122万円			
	公営住宅建設事業債	10億3,604万円	9億8,758万円	9億8,119万円	8億3,874万円			
	学校教育施設等整備事業債	12億8,778万円	12億5,670万円	11億6,700万円	10億7,778万円			
	一般単独事業債	37億5,639万円	35億8,116万円	33億6,656万円	30億8,636万円			
	辺地対策事業債	3億6,675万円	3億3,199万円	2億8,234万円	2億2,017万円			
	過疎対策事業債	54億2,672万円	53億5,747万円	51億4,085万円	49億7,070万円			
	減税補てん債	7億3,977万円	6億2,195万円	5億3,832万円	4億5,373万円			
	臨時財政対策債	45億2,577万円	50億4,899万円	58億8,855万円	64億5,885万円			
その他	11億4,653万円	9億7,192万円	8億4,791万円	9億4,103万円				
小計	219億9,708万円	217億1,245万円	213億6,427万円	210億5,858万円				
特別会計	住宅新築資金等貸付事業債	2億4,843万円	1億5,839万円	1億3,852万円	1億1,814万円			
	下水道事業債	37億1,998万円	36億9,626万円	36億5,586万円	—			
	農業集落排水事業債	10億5,069万円	9億9,793万円	9億5,769万円	—			
	地域開発事業債	6億5,845万円	6億4,145万円	6億2,606万円	6億1,856万円			
	宿泊施設事業債	3億6,208万円	3億2,468万円	2億8,659万円	2億4,782万円			
小計	62億8,656万円	58億1,871万円	56億6,472万円	9億8,452万円				
企業会計	下水道事業債（能美地区）	23億6,039万円	22億9,511万円	22億1,214万円	67億2,838万円			
	交通船事業債	2億4,734万円	2億2,520万円	2億2,787万円	0万円			
	水道事業債	22億5,787万円	21億2,982万円	20億2,467万円	19億1,057万円			
	小計	96億3,627万円	93億4,432万円	90億5,174万円	86億3,895万円			
借入金残高	329億2,311万円	321億8,129万円	314億6,718万円	306億8,205万円				

\*23年度下水道事業債、農業集落排水事業債は、企業会計の下水道事業債に含まれています。

(貯金)

区分	20年度末		21年度末		22年度末		23年度末	
	現在	高	現在	高	現在	高見込額	現在	高見込額
基金	財政調整基金	7億2,257万円	9億1,422万円	13億1,529万円	13億1,582万円			
	減債基金	9億3,352万円	9億3,436万円	9億3,547万円	9億2,417万円			
	その他特定基金	33億9,781万円	35億2,881万円	34億7,327万円	33億7,821万円			
基金残高	50億5,390万円	53億7,739万円	56億2,803万円	56億1,820万円				